

令和6年度  
区長会特別要望事項回答

小牧市



# 《目 次》

- 要望事項 1 市の許認可事務に付随する業者等から区(長)への説明の  
見直しについて (自治会支援室) 1 ページ
- 要望事項 2 市の重要施策等に関する地域への適切な情報提供と  
意見聴取について (広報広聴課) 3 ページ

## **1. 市の許認可事務に付随する業者等から区(長)への説明の見直しについて**

現在、特定の開発行為等について、市の許認可を受けるために区長への説明が必要なものがいくつかある。

その度に、市内外の業者等からの電話や訪宅を受けるが、見ず知らずの間からの架電や訪宅自体への不安感もさることながら、説明の内容自体、素人には適否の判断が困難なものがあり、形式的なものと感じることがある。

そのため、市の許認可事務に付随する区長への説明について、その趣旨や必要性を改めて精査し、廃止や結ネットの活用など時代に即した合理的な手法への改善などの見直しを要望する。

## (回答)

ご要望の業者等からの説明については、延べ件数ながら年間400件弱の件数があると承知しており、主に道路工事等のスケジュールや浄化槽排水の道路側溝への排水、共同住宅へのごみ集積場の新設などの開発行為に関する事案であることから、特定の地域の区長にその負担が集中している可能性があります。

しかしながら、これらは事案に対して、地元住民に説明し、意見を聞き取り、反映することを目的として実施しているものであり、現時点では廃止することは考えておりません。

また、ご提案のデジタル等の活用による合理化については、現在、9割以上の区長に自治会専用アプリケーション「結ネット」をご登録いただいております。

区長の交代等に伴い、年度毎の登録数は増減しますが、登録率は概ね上昇傾向にありますことから、当該アプリケーションを活用した情報提供と意見聴取について、関係部署と連携し、調査・研究を進め、区長事務の負担軽減を図ってまいりたいと考えております。

## 2. 市の重要施策等に関する地域への適切な情報提供と意見聴取について

小牧市では多様な地域住民の声を市政に反映するため、市民の声やパブリックコメント制度などの広聴制度に加え、市長のタウンミーティングを開催したり、区（自治会）を介した住民説明会、さらには各地区の区長会における市長との意見交換会や座談会を実施している。

一方で、少子高齢化、人口減少、ライフスタイルの変化等を要因とした自治会加入率の低下は顕著で、区の役割である地域の情報共有や意見調整機能が限定的になってきている。

この現状の打開には、市が直接、住民への説明、意見を求める機会を設定し、住民が市政を自らの問題として捉え、行政とともに解決への方向性を見出していく住民自治の風土づくりが重要であると考えます。

そこで、市の各種重要施策、特に市民の関心が高いと思われる施策について、地域住民の意見を聞く会を開催するなど、区長はもとより、地域住民への適切な情報提供と、意見を聞く機会をより一層充実していただくことを要望する。

## (回答)

近年、本市を取り巻く社会状況は大きく変化しています。少子高齢化や核家族化の進展とともに、市民のライフスタイルの多様化が進み、市政に対する市民ニーズやまちづくりにおける課題の多様化も同様に進んでいます。

また、このような中で、自治会活動に関心のない人や自治会に加入しない人が増えています。加入率の低下は、自治会活動の停滞につながり、地域の活力低下を招く恐れもあり、市としても大変危惧しているところです。

防災や高齢者・こどもの見守り、居場所づくりなど、地域ごとに対応すべきニーズが変化、複雑化する中において、自治会活動はなくてはならない活動であると認識しています。

今後も進展する少子高齢化や人口減少を見据え、限られた資源の中で、持続可能な行財政運営を行うためには、自治会役員の皆様をはじめ多くの市民の理解と協力が必要不可欠です。

このため、市民と行政がそれぞれ一方通行の関係にならないよう、重点施策や今後の展望など市が保有する様々な行政情報については、適切なタイミングで分かりやすく「広報」するとともに、従来までの画一化された手段や方法だけではなく、多様な市民ニーズを把握するための対話型広聴として市長による「タウンミーティング」を企画・実施するほか、様々な市民の声を聴く「広聴」についても積極的に取り組み、市民と行政が情報を共有しながらまちづくりを進めていくことが重要であると認識しているところです。

この「広報活動」と「広聴活動」が車の両輪として緊密に連動し、それぞれの機能を果たすことで、市政への市民参画を促し、ひいては協働によるまちづくりへとつなげてまいりたいと考えています。

市としては、今後も様々な場面、様々な機会を捉え「広報活動」と「広聴活動」のより一層の充実を図ってまいりたいと考えていますので、引き続き、区長会の皆様のご理解ご支援をお願いします。